

志賀原子力発電所 1号機

275kV 志賀原子力線 1号線の断路器不具合について

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、開閉所設備の点検に伴い受電を停止していた 275kV 志賀原子力線を復旧するため、平成 28 年 3 月 10 日（木）18 時頃、受電操作を行ったところ、設備の異常を示す警報が発生しました。

調査の結果、受電経路にある断路器^{※1}の R 相^{※2}において、断路器の接点を動かす操作機構の部品（「棒ピン」及び「止め輪」）が脱落しており、当該断路器の R 相が正常に投入^{※3}動作できない状態となっていたことを確認しました。

「棒ピン」及び「止め輪」が脱落した原因は、「止め輪」が正規の位置から若干ずれた状態で当該断路器の操作を繰り返すうち徐々にずれが大きくなり、今回の操作で脱落したものと推定しています。

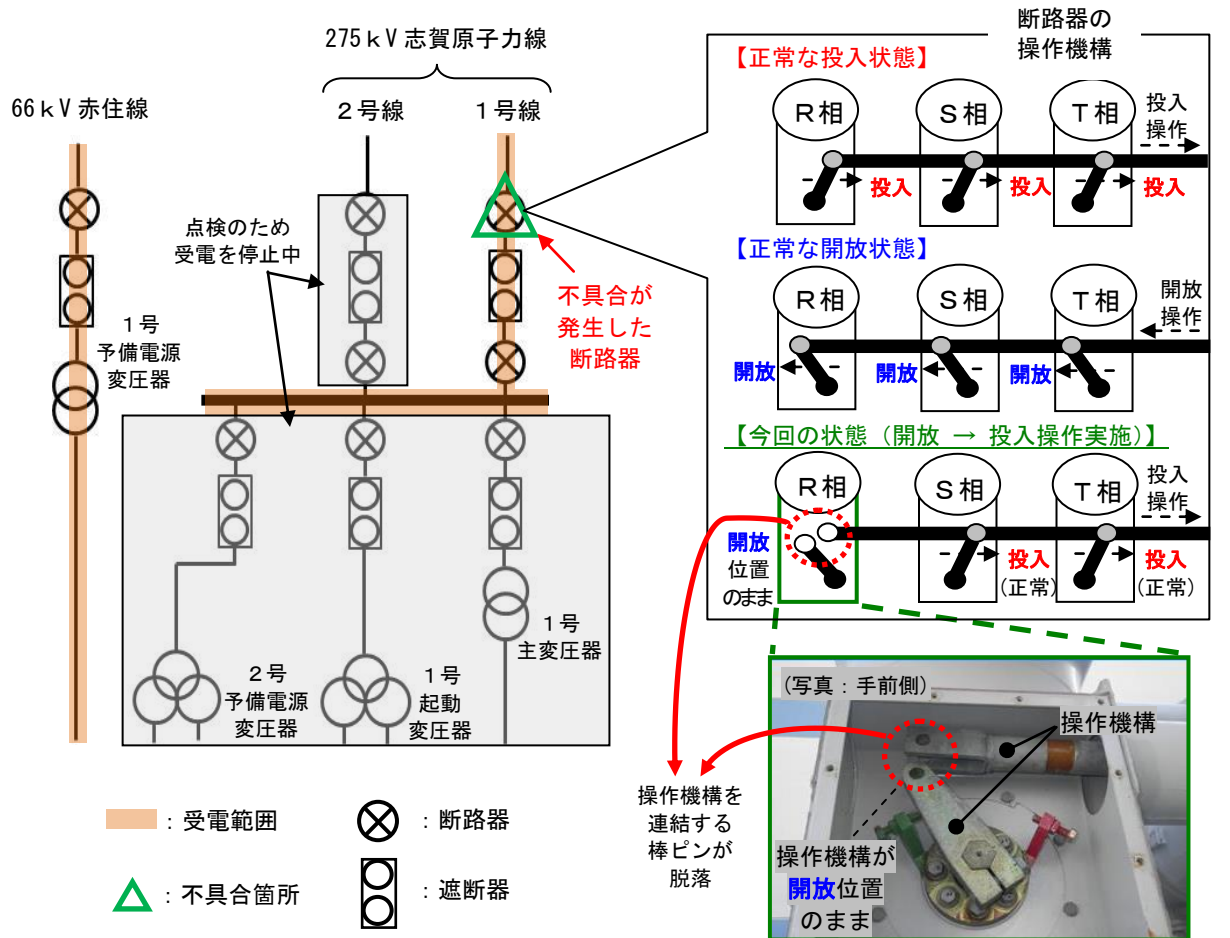
脱落していた「止め輪」を新品に交換するとともに、「棒ピン」及び「止め輪」を正規の位置に設置し、当該断路器が正常に動作することを確認しました。

なお、1号機に必要な外部電源は、66kV 赤住線から受電しており、発電所設備への影響及び外部への放射能の影響はありませんでした。

※1 断路器：変圧器、遮断器等の点検時に、これらの設備を高圧の電路から電氣的に切り離すために使用する装置。

※2 R 相：三相交流における3つの相の一つ。R相の他、S相、T相がある。

※3 投入：開放（切り離し）していた電路を接続して電気が通じる状態にすること。



: 受電範囲
 : 断路器
 : 不具合箇所
 : 遮断器

志賀原子力発電所 1号機
電源系統概要図（警報発生時）

